

第78号(12月15日発行)
 極上の自然留学生だより

12月号



来月(12月~1月)のスケジュール

12/29(火) ~ 1/3(日)	閉寮期間(6日間) (施設状態の閉鎖となります。)	1/16(土) ~ 1/17(日)	大学入試共通テスト
1/6(水) ~ 1/11(月)	経過観察期間 (東京・埼玉・千葉・神奈川) (万一事を考慮し、健康観察)	1/22(金)	第3回英語検定
1/11(月)	帰寮日 (福島・山形・新潟・栃木・茨城) (極力、ご協力をお願いいたします)	1/23(土) ~ 1/24(日)	各種模試(1・2年)
1/12(火)	始業式・課題テスト	1/26(火) ~ 1/29(金)	学年末考査(3年)
		1/28(木)	第3回漢字検定



NEWS & TOPICS☆

冬休み期間の暮らし方について確認しましょう

いよいよ冬期休暇が始まります。離れて暮らすそれぞれのご家庭に帰れる日を心待ちにしている生徒の皆さんも多いのではないのでしょうか。

しかし、現在都心部や各地域では新型コロナウイルスの感染者状況が大きく拡大するなど、油断できない状況なのも確かです。冬休み期間中の暮らし方に気を付け、体調管理には最大の注意を払いましょう。

以下に、気を付けるべきポイントを記載しておきます。

- ① 帰省・帰寮・待機期間を守りましょう
 冬で公共交通機関の問題や家庭の予定もあるかと思いますが、生徒全員の安全を守るためにご協力をお願いします。
- ② 体調管理のためのチェックシートを提出しましょう。
 皆さんの体調に変化がないかの確認です。もし体調に異変がありましたら、寮や学校に連絡するとともに、慎重に様子を見る、医師の診察を受けるなどの対応をお願いします。
- ③ 毎朝の検温、健康確認、寮内共有スペースでのマスク着用、食事をする際の注意などをしっかり守るよう、ご協力をお願いいたします



以上のことを守り、安心して3学期をスタートできるように、お互いに協力し合いましょう。少し寂しくなりますが、また元気な皆さんに会えることを、スタッフ一同心待ちにしています。

作文コンクールに入賞しました！

11月に、留学生2名が作文コンクールに入賞したという嬉しいお知らせが届きました。今回は、その喜びの声とともにどのような思いや経緯で書いたのか、その背景を2人にインタビューしました。

教頭先生の手厚い指導の下、結果を残すことができました。

第40回全国高校生読書体験記コンクール 優秀賞

三宅 実美さん（2年 / 東京都新宿区立牛込第三中学校出身）

およそ100年前の封建的な日本で、自由な生き方を求めた伊野野枝についての評伝を読んだ感想文を書きました。

普段から朝井リョウの作品などの小説を積極的に読むなど、読書に親しむ三宅さんがこの本を選んだきっかけは、家族によるもの。

実家にあった本で、祖父や父が彼女について話す内容を聞いて、自分も読んでみたいと思いました。一度書き上げたものの、様々な観点から盛り込みたい内容が増え、教頭先生を中心に高校の先生方の協力を得ながら何度も手直しを加え、一か月以上の期間をかけて書き上げた作品です。主観的な考えだけでなく、幅広い意見を取り入れ、素晴らしいものを作り上げるいい機会になりました。



寮生活を通じて気付かされた家族のありがたさについて書きました。

「家庭の日」作文コンクール 優良賞

沼田 彩希さん（2年 / 千葉県柏市立光ヶ丘中学校出身）

山村留学生として離れて暮らす家族の大切さについて、作文を書きました。出身は千葉県の柏市。昨年只見高校に入学し、寮生活を始めました。入学当初は自分自身で掃除や洗濯などを行うほか、初めて会う人たちとの共同生活で気の休まる時間がなかなかなく、ゴールデンウィークまでの期間がとても長く感じました。電話で悩みや困ったことについて相談していましたが、実家に帰った際に家族の顔を見てほっと安心するとともに、色々なことをしてくれていた家族に対して感謝の気持ちが湧き上がってきました。

今は寮のスタッフさんや高校の先生方、町の方など周りの大人の方々の温かいご支援やご配慮にも気付くことができ、生活のリズムにも慣れ、楽しく生活ができています。

これからも周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいと思っています。



発行 只見町教育委員会

住所：福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2591 番地の 30

電話：0241-82-5320 e-mail：gakkou@town.tadami.lg.jp